

仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～想定しうる最大規模の降雨も含めた浸水想定区域等の住民への周知～

想定しうる最大規模の降雨に伴う仁淀川の浸水想定区域等の概要について、地元説明会を高知市(旧春野地区)地区長約40名に対して実施。

【実施機関】
高知市、高知県、四国地方整備局

1. 説明会日時:平成28年7月27日(水) 19:00～20:00
2. 会場 :高知市春野町あじさい会館
3. 説明相手 :高知市(旧春野町)地区長約40名
4. 説明内容
 - ・水防法の改正概要について
 - ・浸水想定区域図等の概要及び算出方法
 - ・浸水想定区域図の活用方法
 - ・水防災意識社会再構築ビジョンの取組状況
5. 主な意見
 - ・どの場所の堤防が決壊の可能性が高いか。



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～避難行動計画の検討～

風水害時に避難すべきかどうかなどの行動計画を、予め家庭毎で決定してもらおう取組を実施中

【実施機関】
佐川町

～家庭における防災力の向上を図る取組～

○「さかわ家族防災会議の日」の制定
佐川町民の皆さんの防災意識の向上を図るため、ご家庭で防災についての話し合いの場を設けていただくこと、毎月、第2日曜日を「さかわ家族防災会議の日」として平成28年8月に制定。
毎月異なった防災に関するテーマを広報紙や防災行政無線などでお知らせし、そのテーマに沿って家族の皆さんで第2日曜日に話し合いを行っていただく取組をスタートした。



防災まちづくりサロンの状況

○「防災まちづくりサロン」
家庭の災害対策の状況、避難方法や課題などを考えていただくことにより、家庭における防災力の向上を図る「防災まちづくりサロン」の取り組みを実施。

サロンの参加者からは、「あらかじめ避難計画を決めておくことが大事だと分かった。」、「風水害と地震では対応が異なり、災害毎に考えないといけないことが分かった。」等の意見がありました。

平成27年度は7地区でサロンを開催し、平成28年度は年度末までに30地区を目標にサロンを開催する予定。なお、平成30年度末までには町内全91地区でサロンを開催予定。

また、上記の取り組みで使用していただくため、「わが家の災害に備えるチェックシート・わが家の避難行動計画」のシートを作成し、平成28年8月に町内全戸に配付した。



わが家の災害に備えるチェックシート

仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況
 ～要配慮者利用施設、関係各課と連携した、情報伝達訓練や避難訓練の計画の検討
 及び避難確保計画等の作成に向けた支援の検討を実施～

福祉避難所設置運営訓練を実施

【実施機関】
日高村

1. 訓練日時 : 平成28年9月4日(日) 7:30～11:30
2. 訓練実施場所: 特別養護老人ホーム コスモスの里
3. 参加機関 : 日高村、秋桜会、地域住民、高知県、
他の福祉避難所職員
4. 実施内容 : 職員参集、開設準備、避難者の受け入れ、
対象でない避難者の対応、村との伝達、
訓練の反省、炊き出し等
5. 参加人数 : 約50名
6. 意見等 : 地震発生から建物の安全確認、職員参集
開設準備などについては、行政からの開設
要請を待たずに準備ができていた。
避難者の状態に応じた声かけや、介助等
きめ細かな対応ができていた。
継続して実施することが重要と感じた。等

訓練実施状況



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況
 ～水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施～

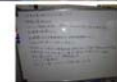
水防団(消防団)と伝達訓練を実施

【実施機関】
土佐市

～ 平成28年度 災害対策本部設置初動対応図上訓練 の実施 ～

1. 実施日時 : 平成28年9月17日(土) 9:00～
2. 会場 : 土佐市防災センター
3. 訓練目的
南海トラフ地震等の大規模災害を想定し、「土佐市南海トラフ地震応急対策活動要領」と「土佐市業務継続計画」に則った発災直後から数時間程度までの災害対応を図上により実践するとともに、同要領および同計画の改善等を図ることを目的とする。
4. 参加機関
土佐市、土佐市消防本部

平成28年度
土佐市
災害対策本部設置
初動対応図上訓練
計画書



土佐市防災会議

訓練の様子



消防本部との図上訓練を通して連絡体制の再確認を行うことで、水災害時においても水防団とのスムーズな情報伝達が可能となる。

仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況

～効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成、配布による、防災情報の住民等への周知～

防災情報のチラシを作成し、広報誌等の配布に合わせて住民に配布。

【実施機関】
高知市、土佐市、いの町、日高村、佐川町、四国地方整備局

「災害時の避難行動に役立つ情報サイト」を紹介するチラシを作成し、広報誌等の配布に合わせて住民に配布した。



- ・住民の防災に対する意識の啓発
- ・防災情報を入手するためのツールの認識

に繋がるものと期待される。



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況

～効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成、配布による、防災情報の住民等への周知～

防災情報のウェブサイトを紹介する記事を広報誌に掲載し、住民等への周知を行う。

【実施機関】
いの町、佐川町、日高村、四国地方整備局

防災情報のウェブサイトを紹介する記事を広報誌に掲載し、住民等への周知



- ・住民の防災に対する意識の啓発
- ・防災情報を入手するためのツールの認識

に繋がるものと期待される。



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～流域市町村の小学生を対象とした取組状況の周知～

水防災意識社会再構築ビジョンの取組状況を実際に取り組んでいる河川の流域市町村の小学生約35名を対象に、防災学習を実施。

【実施機関】
高知県、四国地方整備局

1. 説明会日時：平成28年9月30日（金） 9:30～12:00
2. 会場：土佐市立蓮池小学校
3. 説明相手：小学5年生約35名及びその保護者
4. 説明内容
 - ・水防災意識社会再構築ビジョンの経緯及び取組状況
 - ・樋門、水門等河川構造物の役割について
5. 主な意見
 - ・台風が来たときはどの時点から樋門の操作をするのでしょうか 等

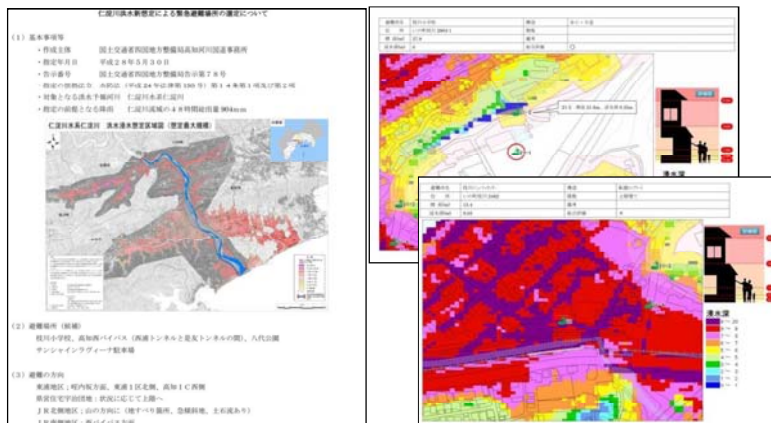


仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～想定しうる最大規模の降雨も含めた浸水想定区域等の住民への周知～

想定しうる最大規模の降雨に伴う仁淀川の浸水想定区域図等についての地元説明会を実施。

【実施機関】
いの町

1. 説明会日時：平成28年10月21日（金） 18:30～20:00
2. 会場：枝川コミュニティセンター
3. 説明相手：枝川地区自主防災会会長、枝川地区区長連合会役員、枝川分団分団長、民生委員・児童委員15名
4. 説明内容
 - ・仁淀川浸水想定区域図の説明
 - ・現状の避難所・避難場所の想定浸水深
 - ・町の考えている指定緊急避難場所及び避難の方向



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況

～効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ資料の配布による、防災情報の住民等への周知～

ダム見学者を対象に、防災情報のチラシを見学の際に事業概要パンフレット等の配布と合わせて小学生等に配布。

【実施機関】
四国地方整備局 大渡ダム管理所

ダム見学の際に「災害時の避難行動に役立つ情報サイト」を紹介するチラシを配布



各家庭に持ち帰ってもらうことで家庭での防災教育に役立つことが期待できる。

配布チラシ

見学のビデオ鑑賞の際に配布

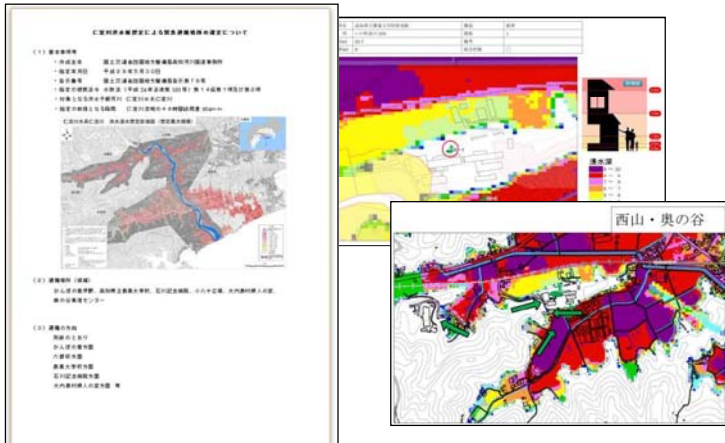
仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況

～想定しうる最大規模の降雨も含めた浸水想定区域等の住民への周知～

想定しうる最大規模の降雨に伴う仁淀川の浸水想定区域図等の地元説明会を実施。

【実施機関】
いの町

1. 説明会日時:平成28年11月9日(水) 18:30～20:00
2. 会場 :川内小学校会議室
3. 説明相手 :川内地区自主防災組織代表者、民生委員・児童委員、川内小学校校長、川内婦人会 計12名(消防団欠席)
4. 説明内容
 - ・仁淀川浸水想定区域図の説明
 - ・現状の避難所・避難場所の想定浸水深
 - ・町の考えている指定緊急避難場所及び避難の方向



説明会使用資料の抜粋

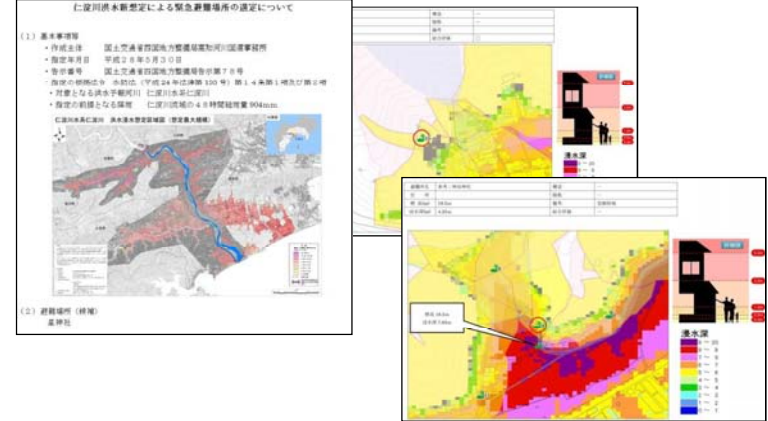


仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況
 ～想定しうる最大規模の降雨も含めた浸水想定区域等の住民への周知～

想定しうる最大規模の降雨に伴う仁淀川の浸水想定区域図等についての地元説明会を実施。

【実施機関】
いの町

1. 説明会日時:平成28年11月15日(火) 10:00～12:00
2. 会場 :加田老人憩いの家
3. 説明相手 :加田地区自主防災会役員、加田地区区長 計11名
4. 説明内容
 - ・仁淀川浸水想定区域図の説明
 - ・現状の避難所・避難場所の想定浸水深
 - ・町の考えている指定緊急避難場所及び避難の方向



説明会使用資料の抜粋

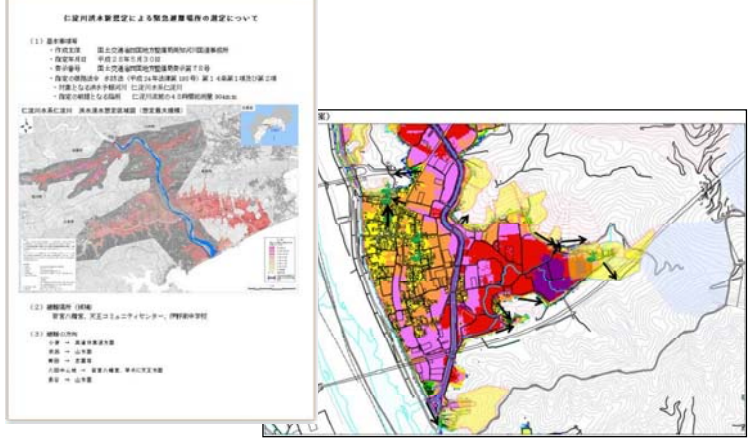


仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況
 ～想定しうる最大規模の降雨も含めた浸水想定区域等の住民への周知～

想定しうる最大規模の降雨に伴う仁淀川の浸水想定区域図等についての地元説明会を実施。

【実施機関】
いの町

1. 説明会日時:平成28年11月24日(木) 15:00～16:30
2. 会場 :八田コミュニティセンター
3. 説明相手 :八田地区自主防災会役員、いの町消防団八田部 計8名
4. 説明内容
 - ・仁淀川浸水想定区域図の説明
 - ・現状の避難所・避難場所の想定浸水深
 - ・町の考えている指定緊急避難場所及び避難の方向



説明会使用資料の抜粋



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～避難場所・避難経路の検討～

避難場所、避難経路の現状確認を実施。

【実施機関】
いの町

1. 日 時:平成28年11月17日(木) 9:00～11:00
2. 会 場:加田地区
3. 参加者:自主防災会会長1名、町職員3名(防災担当2名、土木1名)



地区から提案のあった避難場所について、避難経路・避難スペース等の現地踏査による確認



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～想定しうる最大規模の降雨も含めた浸水想定区域等の住民への周知～

破堤地点別の氾濫流の到達時間を表示した想定しうる最大規模の降雨に伴う浸水想定区域図を事務所のウェブサイトで公開。

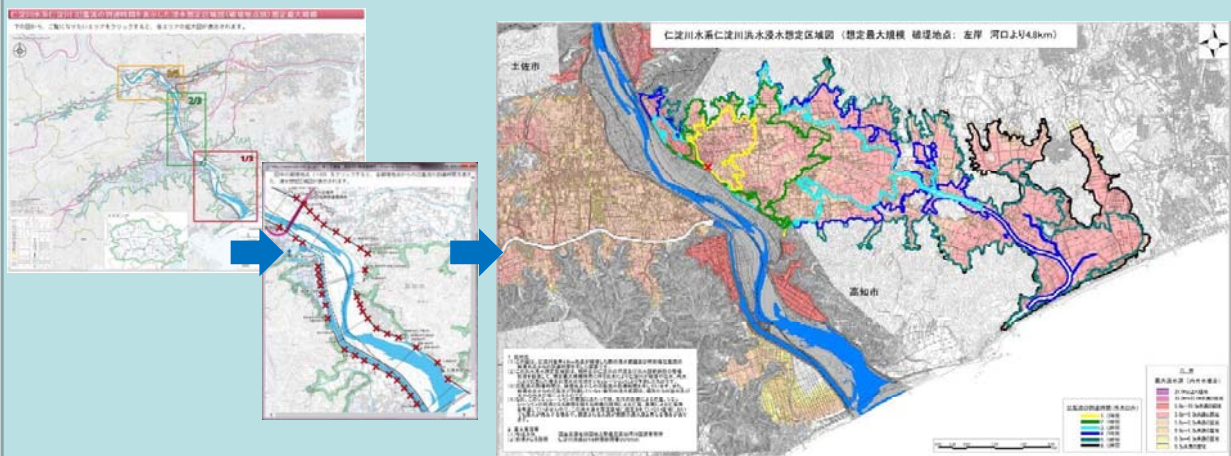
【実施機関】
四国地方整備局

仁淀川の各地点(200mピッチ)が破堤した際の浸水範囲及び時刻毎氾濫流の破堤地点からの到達時間を一枚の図面に重ねて表示したものをウェブサイトで公開。



地点別の氾濫流の到達時間が一目で分かるようにしたことで、避難勧告等の発令判断や住民の主体的な避難に活用できるものと期待される。

氾濫流の到達時間を表示した浸水想定区域図



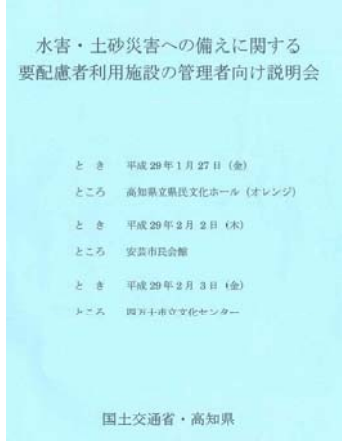
仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況
 ～水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会～

要配慮者利用施設の管理者向けに防災気象情報の活用について説明を実施

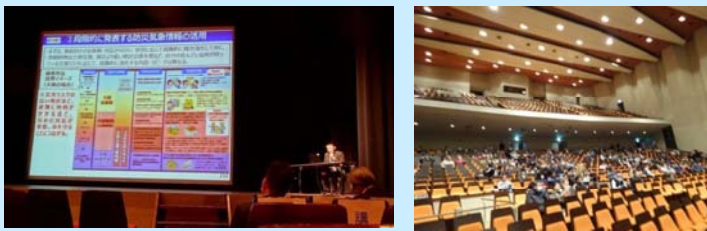
【実施機関】
 高知県、高知地方気象台

～水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会において「防災気象情報の活用について」の説明を実施～

1. 実施日時:平成29年1月27日(金) 13:30～
2. 会場:高知県立県民文化ホール(オレンジ)
3. 目的:高知地方気象台が発表している各防災気象情報について紹介し、これらの防災気象情報を用いて、水害・土砂災害に対する危険度の把握や求められる行動等について理解を深めていただくことを目的とする。
4. 参加者:要配慮者利用施設の管理者



説明会の様子



高知地方気象台が、発信する防災気象情報を用いて、水害・土砂災害から、命を守る行動に繋がっていくものと考えられる。

仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況
 ～小中学校等における防災教育を実施～

小学3年から6年生の児童を対象に、テレビで活躍する気象キャスターを講師に招き学習会を実施。

【実施機関】
 佐川町

～わくわくお天気防災教室を開催～

1. 日 時:平成29年1月14日(土)
2. 会 場:佐川町健康福祉センター「かわせみ」
3. 参加者:児童19名

児童は、豪雨となる雲の形状、雨粒の形などを当てるクイズや雲を作る実験などを通じ、天気や気象に関して理解を深めるとともに、自然災害から身を守るための意識の向上を図ることができた。

～児童の感想～

「雲を作る実験が興味深かった。」
 「面白かった。」

わくわくお天気防災教室の様子



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～水防団等への連絡体制の再確認の実施～

いの町防災会議を実施

【実施機関】
いの町

1. 説明会日時:平成29年2月24日(金) 10:00～11:00
2. 会 場 :いの町役場1階いのホール
3. 参 加 者 :町長、副町長、教育長、町幹部職員、県職員、
消防長、消防団長、警察署長、四国電力(株)、
民生委員・児童委員、自主防災会代表者
4. 会議内容
 - ・いの町地域防災計画の改正について
 - ・仁淀川洪水最大規模想定の説明



区分	施設名	施設内容	被害額(万円)	被害率(%)
町役場	町役場	町役場	10,000	100
	消防団	消防団	5,000	100
	警察署	警察署	3,000	100
	公民館	公民館	2,000	100
	学校	学校	1,000	100
	保育園	保育園	1,000	100
	老人福祉センター	老人福祉センター	1,000	100
	子育て支援センター	子育て支援センター	1,000	100
	健康センター	健康センター	1,000	100
	スポーツセンター	スポーツセンター	1,000	100
中学校	春野中学校	春野中学校	10,000	100
	中学校	中学校	5,000	100
	小学校	小学校	3,000	100
	幼稚園	幼稚園	2,000	100
	保育園	保育園	1,000	100
	老人福祉センター	老人福祉センター	1,000	100
	子育て支援センター	子育て支援センター	1,000	100
	健康センター	健康センター	1,000	100
	スポーツセンター	スポーツセンター	1,000	100
	公民館	公民館	1,000	100

防災会議使用資料の抜粋

防災会議実施状況



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～市町村庁舎の浸水被害対策～

高知市役所春野庁舎を高台へ移転。

【実施機関】
高知市

仁淀川の氾濫による浸水区域内にある高知市役所春野庁舎を、浸水のおそれのない春野文化ホールピアステージ東側の駐車場部分に移転した。



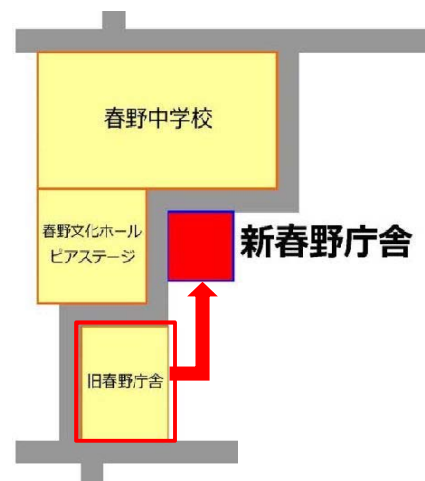
高知市役所春野庁舎

延べ床面積590.29㎡



防災備蓄倉庫

延べ床面積43.32㎡



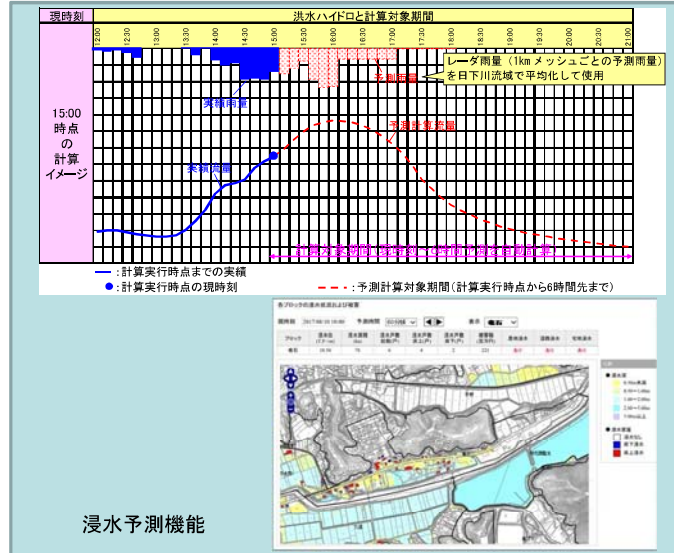
仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～浸水被害情報提供システムによる内水状況の共有～

洪水時の避難勧告や水防活動などを支援するため、日下川のリアルタイム浸水予測システムを構築。

【実施機関】
四国地方整備局

主に下記の機能などを有する日下川のリアルタイム浸水予測システムを高知河川国道事務所内に構築し、洪水時の浸水被害及び浸水予測を佐川町、日高村に情報提供することで、避難勧告や水防活動などを支援する。

- ・リアルタイム浸水状況推定機能 : 現時刻の浸水被害状況を10分間隔で算定、表示
- ・浸水予測機能 : 現時刻から6時間先までの浸水被害状況を10分間隔で予測、表示

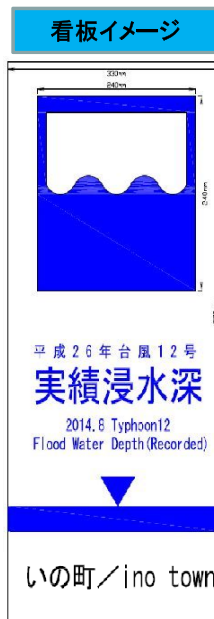


仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～まるごとまちごとハザードマップの整備と周知～

まちの中に実績の浸水深を表示する看板を設置。

【実施機関】
いの町

1. 設置日 : 平成29年3月4日
2. 設置場所 : いの町枝川(西浦5・9区)
3. 設置枚数 : 16枚

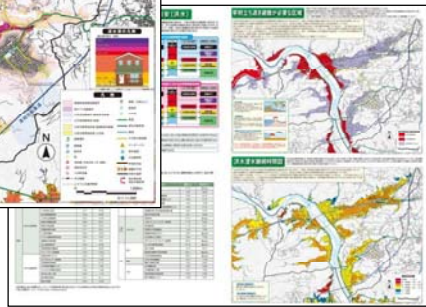
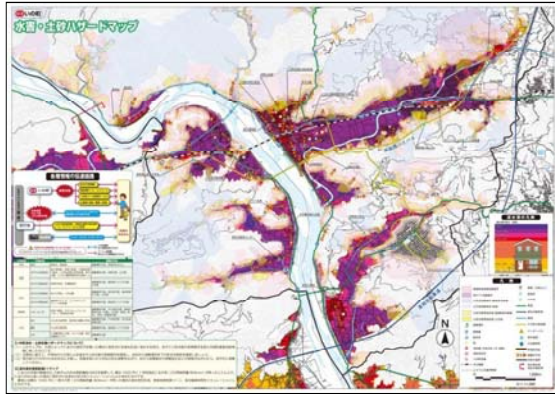


仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～ハザードマップ(統合型防災マップ)の作成～

水害・土砂ハザードマップ及び冊子を作成。

【実施機関】
いの町

1. 作成日:平成29年3月
2. 作成範囲:いの町での想定浸水域(国土交通省管理区間)
3. マップ内容:A1 両面 蛇腹織
表(想定浸水深、土砂災害危険箇所、避難場所、避難の方向、防災関係機関、要配慮者施設、アンダーパス、ポンプ場等)
裏(早期立ち退きが必要な区域(家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水深5m以上)、浸水継続時間、主要地点での浸水深、避難勧告等)
4. 啓発冊子:A3 両面 二つ折り
事前の備え、情報伝達手段等



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～水害時指定緊急避難場所表示看板の設置～

水害時の指定緊急避難場所を表示する看板を設置。

【実施機関】
いの町

1. 設置日:平成29年3月17日
2. 設置箇所:いの町枝川地区
3. 内容:高知西バイパスへの洪水時緊急避難場所表示看板の設置(2か所)



高知西バイパスの一部を緊急避難場所として使用することに関する確認書(平成27年12月1日)



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～プッシュ型情報の発信～

洪水情報のプッシュ型配信の開始に向け、住民への周知を図るために広報誌への掲載を実施。

【実施機関】
土佐市

平成29年5月1日から開始予定の緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信について、住民への周知を図るために市広報紙4月号(3月末配布)に記事を掲載した。



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備～

田ノ裏箇所において、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計を整備した。

【実施機関】
四国地方整備局

田ノ裏箇所は、洪水に対しリスクが高い区間である。

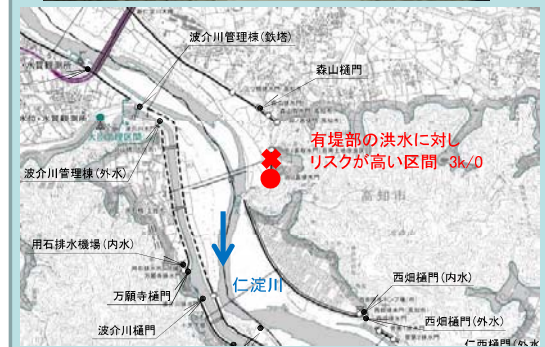
また、水防上重要な箇所でもあり、洪水時に河川水位をリアルタイムで監視できる体制を構築する。

水位データを市等と共有することにより、避難勧告等の発令判断に活用できるものと期待される。

田ノ裏水位計



田ノ裏水位計センサー部



仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～堤防天端の舗装～

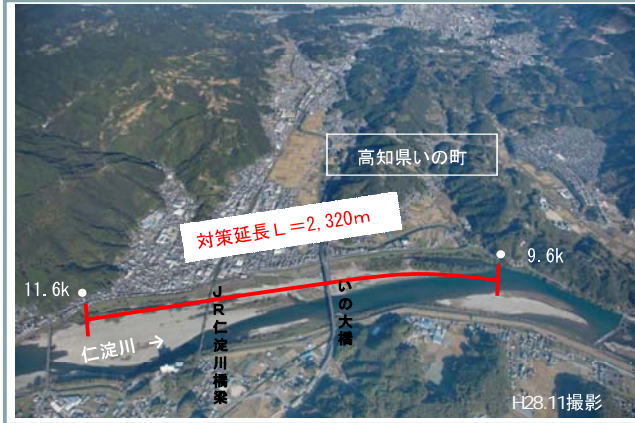
決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防天端の舗装を実施。

【実施機関】
四国地方整備局

氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランス等の観点から整備に至らない区間などについて、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防天端の舗装を実施。

【対策箇所の一例】

仁淀川左岸
9.6k～11.6k



左岸9.6k付近
から上流を望む

対策前



対策後



・堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす。

堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。

